



五高だより



情報満載の
ホームページも
御覧ください。

アウトドアコースと マネジメントコースの三年生 大人会議を実施

六月二十一日、アウトドアコースとマネジメントコースの三年生が、「大人会議」を実施しました。この会議は、十一月に予定している五高フェス（仮）や地域にある耕作放棄地の再利用に向けて自分たちは何ができるかを考え、地域から参加してくださった大人の方々にそのアイデアを伝え、様々な指摘やアドバイスを頂く機会です。

あきる野市五日市地区と日の出町で飲食業、不動産業、デザイン業など街づくりに関連した事業や取組をする方々に声を掛けた大人十名に御参加いただきました。現三年生はアウトドアコースとマネジメントコースの一期生なので、今回の大人会議も初の試みです。地域の皆さんに専門的な見地からアイデアや指摘、生徒の発想に



欠けていた視点を与えてくられて、生徒たちの考える幅が広がったのではないかと思います。地域の方から「これまで三十年近く五日市にいたのが高校生と意見交換できたのは今回初だった。これからは機会があれば参加していきたい。」とのコメントを頂きました。呼びかけに賛同し参加してくださった方々に感謝しております。西の風新聞や西多摩新聞にも掲載されました。この地域の様々な方々とのつながりを大切にしていきたいです。

本校にとって第一号となる立派な懸垂幕をありがとうございます。感謝申し上げます。懸垂幕を掲げられた校舎を見てみると明るく雰囲気ガラッと変わりました。今回の受賞は、やりたいことや興味のあることを掘り下げてとことんまでやろうという気持ちを持って取り組んだ成果ではないでしょうか。



懸垂幕完成 PTA から贈呈

ESG国際交流部の皆さんが今年二月に開催された高校生スピーチコンテストにおいて最優秀賞を獲得しました。これを受けて、PTAからお祝いの懸垂幕が届きました。天候が悪くいつお披露目するかタイミングを見ていましたがようやく南校舎に掲げられました。

次の懸垂幕をPTAや同窓会にお願いできるように皆さん頑張らしましょう。



五月二十六日、進路探究としてペーパータワー・ワークショップを体育館で実施しました。今回のワークショップの目的は、多様な人と力を発揮するために必要なコミュニケーション能力、協調性、発想力等を学ぶことでした。普段あまり話したことのない生徒同士がグループとなり紙とテープを使い十五分で「高さ」を競うゲームです。協力し合ってそれぞれの班の個性が表れた様々な形のタワーが完成しました。

社会に出ると多様な価値観を持った人や立場の異なる人と会話をし協力し合って仕事を進めていかななくてはなりません。生徒の中には「今回のワークショップを通して、与えられた環境で殻を破ってコミュニケーションを取ってみようという気持ちが大切だ」と気付いた生徒がいました。

二年生 探究活動でワークショップを実施

二年生の探究活動では、地域を舞台にSDGsの視点を入れた「持続可能な観光」をテーマとし「SDGs 修学旅行」を企画します。



この企画の作成に向けて六月十五日、横浜市立大学の有馬貴之先生を講師にお招きし、「持続可能な観光とは」について講演をしていただきました。今後、観光者は観光する地域への文化や社会をリスpektすること、観光を企画する側は『持続可能な観光ガイドライン』に則って課題を解決できるような旅行を企画することが求められていくことを学びました。

「課題」については、実際に大学のゼミで学んでいる学生がそれぞれの地域の課題を具体的にコメントしてくれたこともあり、生徒も発想がしやすくなつたようです。

生徒会のメンバーが挨拶運動



毎朝生徒昇降口では挨拶等の指導をしています。先日、あいにくの雨の日生徒会のメンバーが生徒昇降口に立ち、挨拶運動をしてくれました。生徒の元気な声を聞くと皆も声のトーンが少し上がり元気な声になるように感じます。挨拶運動が今後も何度か予定されています。朝から元気に声を出すと元気が出て明るい気持ちで一日が過ごせそうですね。朝から声を出すことはとても大切です。皆で、朝に限らず日常的に、元気に挨拶ができる学校にしましょう。



3年生探究フィールドワークを実施

六月三日、二時間連続の三年生の総合的な探究の時間の最初の一時間を使って、地域の魅力を伝えることを念頭に学校から徒歩十五分の黒茶屋までフィールドワークに行きました。黒茶屋は、授業で視聴したテレビ番組でも紹介された「ここに行ってみよう！」と上位の結果になった場所です。なぜその場所が人気スポットなのかを考えながら行動しました。コロナ

禍により計画通りフィールドワークができなかった学年です。地域の魅力を感じられたでしょうか。次の時間には西多摩新聞を活用した地域探究を実施しました。普段はあまり読まないであろう新聞を広げ気になる記事を探し、地域の魅力のネタ探しを行いました。集中してワークシートに書き込む生徒の姿が印象的でした。



1年生学び直し&校内研修会を実施

一年生は、五月後半から定期考査前の放課後に学び直しを実施しています。学び直しのある日は四〇分の短縮授業として七時間目の時間を設定して行っています。国語・数学・英語の学び直しを、ベネッセが提供するアプリ(Cass)を活用し、学習画面を見たあとでモクテストを行い理解できているのかを確認します。

学期の初めに実施している基礎力診断テストの結果に基づき、生徒各自の理解が十分できていない部分をAIが分析し、提供してく

れるので、おおむね一人一人の学習到達度に合った学びを進められています。これまでに国語・数学・英語をそれぞれ二回ずつ行いました。生徒の学び直しの取組への姿勢は良好です。



のらぼう菜の種を収穫へ

梅雨に入る前の六月三日昨年十月から育ててきたのらぼうの株を遂に引き抜きました。折角なので種を収穫しようとして数日後、株を乾かす場所を探し邪魔にならない場所に干しています。さて、うまく種が取れるでしょうか。乾いて色が変わってきました。乾いた草



定時制小和田太鼓を披露



定時制の一年生は「人間と社会」という授業の中で地域伝統の小和田太鼓を地域の方から直接手ほどきを受けています。六月三十日は、学校から約五分の場所にある阿伎留神社において水無月祓と呼ばれる神事が行われました。宮司さんの計らいもあり、定時制の一年生が、神楽殿で和太鼓の演奏をしました。コロナ禍で数年振りの演奏でした。体に響く音、掛け声も大きく「一番いい出来だ！」と見物のお客さんからお褒めの言葉を頂きました。

八月二十七日に地域で行われるお祭り「ヨルイチ」、九月三十日、十月一日に開催する本校文化祭「五高祭」等でも和太鼓の演奏を披露して、ぜひ多くの皆様に感動を与えてほしいです。



<東京都立五日市高等学校が目指す生徒像>

広い視野を持ちながら新しい社会に対応するとともに、地域貢献できる生徒、地域を愛し地域から愛される生徒

発行者 東京都立五日市高等学校 校長 久保田 聡
住所 〒190-0164 あきる野市五日市 894 電話 042-596-0176 ファクシミリ 042-596-1250
URL : <http://www.itsukaichi-h.metro.tokyo.jp/> 御意見や御感想はこちらへ→

